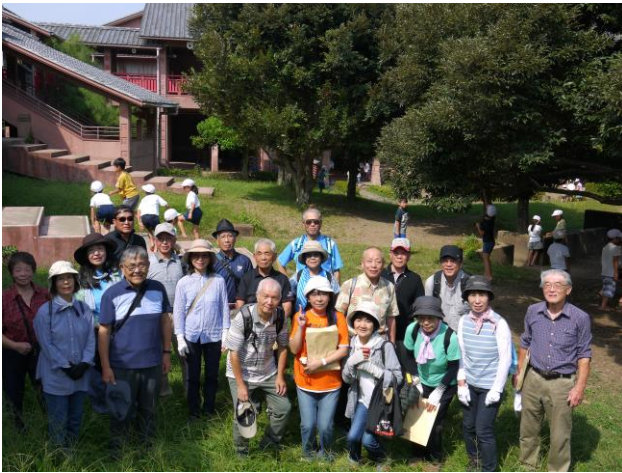


ふれあい大学 35期会 会報 NO5

2020年1月28日発行
ふれあい大学35期会 総務部

活動報告

《宮代ウォーキング》



ガイドクラブの皆さん



笠原小学校



進修館

10月1日 真夏のような暑さのなかガイドクラブさんの案内で姫宮駅をスタートしました。宮代という町名の由来は姫宮神社の「宮」と身代（このしろ）神社の「代」からつけられているとの事です。田園地帯の桜並木を進み、笠原小学校、新しい村、進修館まで約4キロの道のりでした。笠原小学校や進修館は前町長の子供や町民に対する厚い思いが込められたユニークな建物でした。現在に至るまで十分その心意気が伝わっている自然豊かな町でした。桜の咲く頃もう一度歩いてみたいと思いました。



9班 榎本紀子

《グリコ・富岡製糸場バスツアー》



ハート型の芝生



かわら屋で昼食

前日の雨もあがり、秋晴れの9月19日(木)春日部駅西口から貸切バスに乗車した一行は、まず北本市にある「グリコピア・イースト」に向いました。真っ赤な看板、ハート型の芝生、ポッキーとプリッツ型のロケットが迎えてくれました。このロケットは本物で実際に打ち上げられたそうです。グリコの名前の由来は「グリコーゲン」、その「グリコーゲン」が多く含まれる牡蠣の貝殻をイメージしたホール内で創業者の半生や、チョコレートが出来上がるまでをビデオで観賞した後、案内の方の説明を受けながら、チョコレートの甘い香りが漂うポッキーの製造ラインや香ばしいプリッツの製造ラインを見学、ポッキーは一日7万箱、プリッツは5万5千箱を製造しているそうです。グリコミュージアムでは昭和6年製の映像付きのキャラメル自動販売機に驚き、過去のおまけや展示品を懐かしく見学、土産をいただき工場を後にしました。

次は富岡製糸場見学の前に工場近くの割烹料理店「かわら屋」で腹ごしらえです。鮎の甘露煮・コンニャクの刺身・名物の「こしね汁」(こ〜コンニャク・し〜シイタケ・ね〜ネギ)など地元の特産品を使った昼食とは思えない豪華な御膳で大満足でした。

さあ明治時代へタイムスリップ!「富岡製糸場」は、明治の初期外貨獲得のため生糸を大量に生産することが必要となり、明治5年に建造された官営の本格機械化による生糸製造工場

で、奥行き100mを超える木骨煉瓦造（モッコツレンガゾウ）の建物が当時のまま残り、フランス積みの工法で煉瓦壁が積まれ、建物内部の柱、梁も木で構築されていて、国の史跡でもある操糸場と東西の繭（マユ）倉庫は国宝に指定されています。

電気がなかった当時の操糸場は太陽からの明かりを取り込むためにガラス張り構造になっていて、伝習工女と呼ばれる13歳～25歳の若き優秀な子女が募られ、地元へ帰って指導するために日の出から日没までの7時間45分働き、週1回の休日、夏休暇や年末年始休暇もあり、野麦峠のような女工哀史とは違い恵まれた環境であったのは、製糸場創設に携わったフランス人技師のポール・ブリューナの影響だと言われています。しかし後に民営になった時は、その限りでなかったようです。

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、バスは一路春日部へ。皆様のご協力のお蔭で予定より早く帰着することが出来ました。皆さまは楽しい旅になりましたでしょうか。次回も35期会の催しにご参加くださるよう心よりお待ちしております。 10班 益子美智子



繭から生糸を紡ぐ実演コーナー



10班 益子美智子



《こどもライブフェスタ 2019》



11月30日(土曜日)春日部ふれあいキューブにおいて 200名以上のボランティアが参加してこどもライブフェスタ2019が大盛況のうちに終わりました。35期会では7名の有志が参加し、子供たちと楽しい時間を過ごしました。

来場者は、昨年を上回る3,400名皆さん本当にお疲れ様でした。



班会だより

このコーナーでは、班会活動を紹介します

《Qの会 第2回親睦旅行》



11月6日当日 とても良い天気です。“オハヨー”の元気な声と共に参加者7名でバスへ乗り込み、いざ塩原温泉へ出発です・車中話も盛り上がり、あっという間に到着です。お昼は柳橋さんの手作り稲荷で腹ごしらえし、散歩、温泉を堪能した後は待ちに待った夕食です。乾杯の音頭と共にアルコール、料理、おしゃべりと花が咲き、学生気分楽しい時間が過ぎました。翌日の遊歩道散策は台風の影響かちょっと残念な紅葉でした。帰りの車中はおみやげの温泉饅頭と楽しさの余韻を乗せ夢の中、一路春日部へ！本当に楽しい親睦旅行でした。

幹事さん有難う♡



9班 郷古 光子

《忘れえぬ浜離宮 7班親睦旅行》



11月27日(水)藤7班 10名(男性4名・女性6名)は、浅草から水上バスで浜離宮恩賜庭園への、日帰り旅行を行いました。生憎の曇天の中、春日部駅に集合し浅草へ。久しぶりの顔合わせに、笑顔と会話の花が咲き、あっという間の30分でした。

浅草に着くと雨が降り出しました。そのせいか混雑することもなく、水上バスから綺麗に整備された隅田川沿いの景色を眺めながら、吾妻橋・駒形橋・厩橋を過ぎて、今は開くことのない勝どき橋をくぐって、40分の船旅を楽しみました。浜離宮恩賜庭園では、傘をさして少し肌寒い中、見事な紅葉を堪能。『三百年の松』の姿態、この季節に咲く冬桜、などなど驚きの連続。後ろ髪を引かれながら、晴天の日の再訪を想い、再び水上バスへ。忘れられない散策となりました。

浅草に戻ると、アサヒビアホールの1階で美味しい食事とビールをいただき、浅草寺にお詣りして帰途に着きました。ほんとうに楽しく充実した班会でした。



7班 菊地 博子

《増上寺めぐりツアー 1班》



12名の参加者

11月19日 前日まで雨の心配をしていたのが嘘のような天気にも恵まれました。2回目のお世話になる「港区ボランティアツアーガイド」の皆さんに案内され、楽しい2時間半を過ごしました。今回のコースは、増上寺から愛宕神社・NHK放送博物館を見学したあと虎ノ門ヒルズで解散というルートでした。



千体のお地藏さん



愛宕神社



看護婦教育発祥の地



港区ボランティアツアーガイドの皆さん



楽しい投稿がたくさんあり、6ページとなりました。これからも班会の参考になるよう、皆さんからの情報お待ちしております。

総務部 関根